



学校評価アンケート集計結果

ご協力いただきました「学校評価アンケート」の結果から読み取れたことについて、顕著なものをお知らせいたします。課題として挙げられたことにつきましては、対策を講じ改善に取り組んでいるところです。

A: そう思う B: ややそう思う

C: あまり思わない D: 全然思わない

【評価のよい項目 ～すべてAかBの回答の項目～】

児童アンケートより

自分の物はきちんと整理し、みんなの物は大切に使っている。



相手の気持ちを考え、友だちに親切にし、力を合わせてがんばっている。



健康や安全に気をつけて、元気に遊んだり運動をしたりしている。



学校のきまりや約束を進んで守っている。



○本校で4月から取り組んでいる「凡事徹底」の指導が浸透し、児童が「あたりまえのことをあたりまえにする」ということを意識していることがわかります。今後も、児童自身が「その時、その場でどのような行動が適切であるか自分で考えて、決めて、実行する力」を高める指導に努めてまいります。

保護者アンケートより

お子さんは、相手の気持ちを考え、友だちに親切にし、なかよく行動している。



お子さんの健康・安全意識を高めるために、健康・保健・衛生・食育等の指導が適切に行われている。



学校の施設・設備・環境・備品等は児童の安全に気を配り、適切に整備され、子どもたちが安心して学習することができる環境となっている。



○児童の「なかよくしよう」「協力しよう」という気持ちが高まり、それが保護者の方にも伝わっていることがわかります。とはいえ、児童は友達とのかかわり方を様々な経験を通して学んでいるところですので、友達関係での悩みをもつことがあると思います。保護者の方とも連携しながら適切に対処し、児童が友達との望ましいかかわり方を身に付けられるよう努めてまいります。

○健康・安全に関わる取組についてよい評価をいただきました。今後も、児童が安心して学べる環境を整え、健やかに成長できるよう努めてまいります。

【記述欄より】

(保護者)

○少人数の学校だからこそ、先生、父母間でいいにくいことや意見をのんでしまうことも正直今まではありましたが、最近とはとてもいいやすい雰囲気を感じるようになりました。(あくまで個人的な意見です。)

もし、先生方も父母へいいにくいことや雰囲気があったとしても、気にせず言ってほしいです。(子供への指導すべきこと、悪態、親の見えていない部分はたくさんあると思うので。)

○先生方とは、行事ごとでしかなかなお話しする機会はないのですが、涌小通信を読ませてもらい、親として感銘を受けたり勉強させられる内容ばかりで、先生方が一丸となってあのような信念のもとに指導していただいていると思うと、とてもありがたく、頼もしさを感じています。校長先生のような先生に私自身も受け持ってもらいたかったなど、今更ながら思いました。

(学校運営協議会委員)

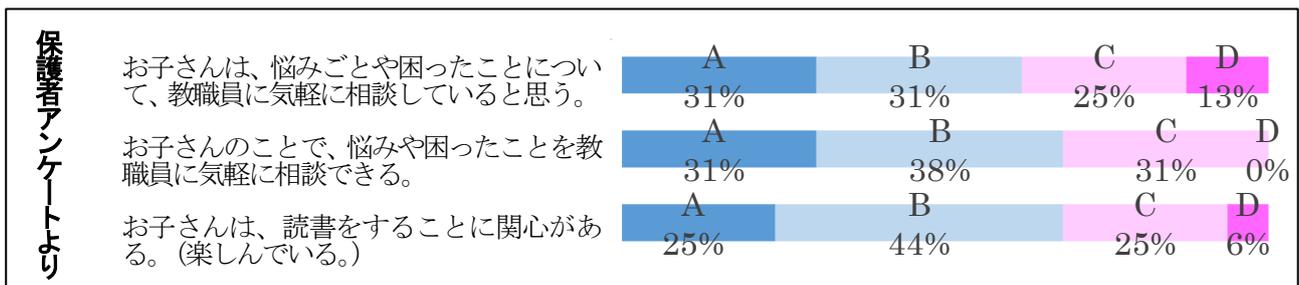
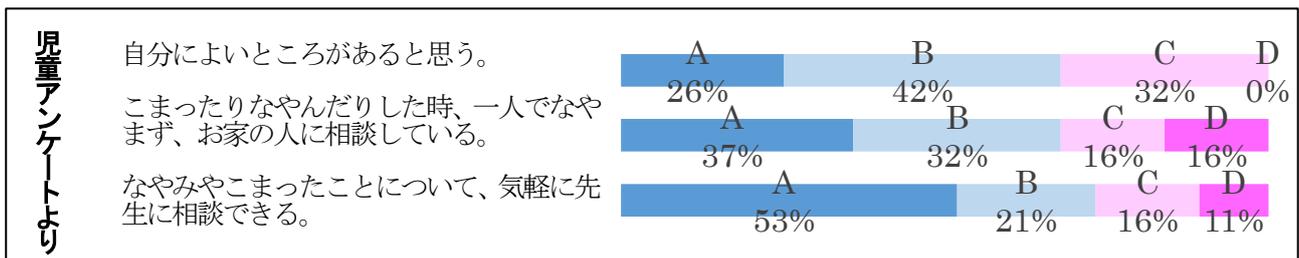
- コロナ禍の中でも、対策と工夫が施された平常並みの学校行事や学習環境作りへの教員皆様の努力や思いは、将来、子供たちの大切な思い出となって報われると思います。
- 以前からですが、体育館の戸を工夫して、カメムシが入りづらく、かつ、換気できるように作った網戸が素晴らしいです。

○保護者の方、学校運営協議会委員の方からお褒めの言葉をいただきました。また、学校運営協議会委員の方からは、評価項目についても全てよい評価をいただいております。ありがとうございます。今後も学校の取組をお伝えし、ご理解いただきながら、保護者・地域の方々と協働しながら教育活動を推進してまいります。

【 課題のある項目 ～ CとDの回答が特に多い項目 ～ 】

A : そう思う B : ややそう思う
C : あまり思わない D : 全然思わない

児童アンケートより



- 「自分にはよいところがある」という質問に、約1/3の児童がC、Dと回答しました。しかし、A、Bと回答した児童は昨年度の約50%から68%に増加しています。学習後や行事後の振り返りを工夫し、児童自身が自分のがんばったことや成長したことなどに気づけるようにした取組の成果と考えます。
→ 今後も、児童自身が、自分のよさに気づくことができるような取組をすすめていきます。
- 児童、保護者共に、悩み事や困ったことを教職員に相談しにくいと感じているようです。いずれの質問も、昨年度に比べてA、Bの合計の割合は増加しているものの、相談しやすい関係、環境づくりが必要と考えます。また、児童の約1/3は「家の人に相談している」という質問にC、Dと回答しています。ご家庭においても、お子さんの話をじっくりと聴いてあげる時間をつくってあげてください。
→ アンケートを実施したり、教職員間で情報共有したりするなどし、児童の困っていることに気づけるよう努めています。
担任が教育相談を実施し、一人一人の困りごとを聴いたり、その子のよさを伝えたりしています。
養護教諭が個別健康相談(けんこうとーく)を実施し、健康についてだけでなく、様々な相談にのっています。
今年度、初の試みとして、校長が「子育て」についてお話しする教育懇談会を実施しました。学校と保護者が一緒になって子育てを考える場をつくり、交流を深めることができました。また、3学期の授業参観・学級懇談の後に、希望者を対象として個人懇談を実施し、対話することで信頼関係を築けるよう努めてまいります。
- 約1/3の保護者の方が、お子さんは読書することを楽しんでいないと思っていることがわかります。一方、「読書をするを楽しんでいる」という質問にA、Bと回答した児童は84%おり、昨年度と比べても増加していますので、読書の取組の成果が出ていると考えます。
→ 今後も、毎週の火曜日の朝読書の時間、学期に一度の読書週間やおすすめの本の紹介等、いろいろな本にふれる機会を多く設定し、読書を楽しめるような取組をすすめています。